

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅡB(AB202)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
濃茶点前の習得を通して、もてなしについて考える力を培い、日常生活に必要な礼儀作法を身につけることを目的とする。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	濃茶点前での柄杓の扱い方を理解し、炉と風炉の時期の違いを類別できる。				小テスト	5%	
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。				授業態度	30%	
多様性理解力	茶道実技である「濃茶点前」が実践できる。				実技確認	55%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実技確認の成績を55%とし、点前の流れがスムーズにできているか、道具の扱いが理解されているかを確認する。茶入、仕覆の扱い、柄杓の扱いについて、流儀の形を理解しているか等から評価する。授業態度については30%とし、稽古への積極性を評価する。毎回の授業内容をポートフォリオを用いて整理し、習熟度の向上に繋げる。小テストは5%とし、5回目と13回目を実施する。レポートは、ポートフォリオを利用して、オプションの授業への取り組みと感想から評価する。実技確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>点前については、道具の扱い(茶入、仕覆の扱い、柄杓の扱い)を学び、濃茶点前を完成させることを目標とする。教材として、茶道文化研究所作成の動画も用いる。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。カリキュラム上、茶道文化ⅡBを履修するためには、茶道文化ⅠA・ⅠB・ⅡAの単位を取得することが必須である。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 81～93頁</p> <p>参考書：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流 茶道点前』長崎短期大学特色GP関連事業(2007年)</p> <p>指定図書：飯倉晴武著『日本人礼儀作法のしきたり』青春出版社(2007年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・学習として、茶会と茶事の仕組みについて『観光の地平』を読み、理解しておくこと。 ・茶道に関する茶花・道具などにも関心を持ち、日常生活の中で活かす努力をして頂きたい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・濃茶点前（前半）稽古①	濃茶点前（前半）の復習。	講義概要（シラバス）を確認する。 教科書 pp. 81～89 を読み、 予習・復習をする。
2	・濃茶点前（前半）稽古②	濃茶点前（前半）の復習。	教科書 pp. 81～89 を読み、 予習・復習をする。
3	・濃茶点前（後半）見本	濃茶点前（後半）の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 89～93 を読み、 予習・復習をする。
4	・濃茶点前（後半）稽古①	濃茶点前（後半）の復習。	教科書 pp. 89～93 を読み、 予習・復習をする。
5	・濃茶点前（後半）稽古② ・小テスト	濃茶点前（後半）の復習。	教科書 pp. 89～93 を読み、 予習・復習をする。
6	・濃茶点前稽古①	濃茶点前の復習。	教科書 pp. 89～93 を読み、 予習・復習をする。
7	・濃茶点前稽古②	濃茶点前の復習。	濃茶点前（後半）の自主的 な稽古をし、点前の流れを 整理する。
8	・濃茶点前稽古③	濃茶点前の復習。	濃茶点前（後半）の自主的 な稽古をし、点前の正しい 型を身につける。
9	・濃茶点前稽古④	濃茶点前の復習。	濃茶点前（後半）の完成を 目指し、自主的な稽古をす る。
10	・濃茶点前稽古⑤	濃茶点前の復習。	濃茶点前（後半）の完成を 目指し、自主的な稽古をす る。
11	・点前確認	濃茶点前がどこまで理解されているか、確認する。	濃茶点前の完成を目指す。
12	・点前確認の振り返り ・濃茶点前総復習	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 濃茶点前の復習をする。	点前確認を振り返り、自己 評価する。 教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
13	・炭点前(炉)見本 ・濃茶点前総復習 ・小テスト	炭点前(炉)の見本を確認し、概要を理解する。 濃茶点前の復習をする。	教科書 pp. 81～93 を読み 予習・復習する。
14	・初釜	新年を祝う初釜を実施する。日本の正月や初釜について学び、鎮信流の流儀の特長を示す床の飾り方や、古来松浦家の風習について理解を深める。	祝儀袋のマナーを予習・復 習する。
15	・松芳忌	学校法人九州文化学園の創設者である安部芳雄（松芳）先生の遺徳をしのび、献茶式を実施する。	教科書 pp. 7～12 を読み、 予習・復習する。 不祝儀袋のマナーを予 習・復習する。